

知的障害・発達障害児（者）の理解と支援の輪を広げるための研修

社会福祉法人 一条協会

〒787-0010 高知県四万十市古津賀 1801 番地 1

助成事業の概要

【実施目的】

地域住民に障害（特に知的障害・発達障害）児・者の特性、具体的支援方法の理解を深めてもらう。

【実施時期】

3月2日：朝、岡山県美作市より四万十市へ移動、夕方、リハーサル

3月3日：午前・リハーサル等 午後・公演

3月4日：午前・午後、各1回公演

3月5日：午前・午後、各1回公演

3月6日：午前・公演、午後・黒潮町より岡山県美作市へ移動

【実施内容】

1. 障害者福祉に関する説明（約 15 分）：社会福祉法人一条協会職員
2. リカイヒロメタインジャー公演（約 1 時間 15 分）：美作大学福祉のまちづくり学科 准教授、学生 14 名
3. アンケート調査

事業の成果

リカイヒロメタインジャーによる公演は、興味をもって観劇してもらうことができ、また、疑似体験等により、障害児・者を身近に感じたり、自分に置き換えて考える児童も見受けられた。障害児・者（特に知的障害、発達障害）の特性への理解と、具体的支援方法理解が深まったと思われる。

アンケートや感想文より、程度の深淺はあるがほとんどの児童について達成できたと考えている。（感想より）

・障害の人も応援されたほうがうれしいとわかった。

・家で（疑似体験を）やってみると応援してくれたほうがやりやすかった。

・知的障害とかで、一つにしか注意が向かないのはおかしいと思ってたけど、自分がテレビを見ていて聞こえないことがあるので、それが強いだけなんだなと思った。

・心も、言葉も通じないというのはとても不自由なことなんだなと思った。

・「障害者は変わった人だな」と思うけど、実際に自分を振り返ってみると、自分もこだわりがあるし、夢中になったらやめられなくなるから同じなんだなと思った。

・こだわりの強い人でもわざとじゃないということを知っておきたい。

・言葉が通じなくても絵やジェスチャーなどを使えば、分かり合えることを知った。

・実際に体験などをさせてくれて、理解がしやすかった。もっといろんなことを知りたい。

・人には個性があって、そのことを忘れないようにしながらみんなと仲良くしていこうと思った。

・自閉症の人は興味のもったものは目をはなさないから逆にすごいなと思った。

成果の広報、公表

次回（平成 26 年 5 月予定）広報にて公表予定。

公演の様様を写真で、実施日時、場所、内容、助成事業者について掲載予定。

[公表内容]

- ・実施日時
- ・実施場所
- ・実施内容（写真等掲載）
- ・実施後のアンケート結果、感想等
- ・助成事業者、助成事業名、助成金額

今後の展開

今後も、この研修を継続していき、地域住民の障害（特に知的障害、発達障害）児・者の特性、具体的支援方法の理解を深めていきたい。それにより障害児（者）が地域で生きる困難さと、地域住民が障害児（者）に接する際の戸惑い等精神的負担が軽減・解消できると考えている。さらには、地域住民と障害児（者）双方の人権意識の醸成が図られることを期待している。今後は市内だけでなく、地域を少しずつ広げ、長期的に研修を継続していきたい。